

2018年3月29日

各位

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

栃木と自分と仕事の未来を考える、若者による若者のための4日間

「ミライ×キャンパス」開催

～ リオオリンピック男子ラグビー日本代表キャプテン桑水流 裕策選手が体験談 ～

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社(本社:東京都港区 代表取締役社長:吉松 民雄)と特定非営利活動法人とちぎユースサポーターズネットワーク(住所:栃木県宇都宮市 代表者:岩井 俊宗)は、若者たちの企画運営で地域での学びや出会いの場を創出する「ミライ×キャンパス」(以下本事業)を開催しました。

本事業は、3月24日(土)から27日(火)まで4日間開催され、県内で活動する同世代の若者の価値観に触れる「とちぎ学生の集い」や、県内で活躍する社会人の価値観に触れる「とちぎおもしろ仕事学」や「失敗体験からの学び」などのプログラムを開催。3月27日(火)、高校生・大学生20名が参加して開催した最終プログラム、「コカ・コーラ ボトラーズジャパン トーク!」では、リオデジャネイロオリンピック男子ラグビー日本代表キャプテン桑水流 裕策選手(コカ・コーラレッドスパークス所属)が講師として日本代表キャプテンとして培った経験や働く先輩としての体験談を披露するトークセッションが行われました。参加者からもたくさんの質問が寄せられ、若者の未来を描く有意義な時間となりました。

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社は、今後も「地域密着」「顧客起点」を経営の原理とし事業活動に取り組んでまいります。



「コカ・コーラ ボトラーズジャパン トーク!」で質問にこたえる桑水流選手



【ミライ×キャンパスとは】

栃木県内の高校生・大学生などを中心とする 30 歳以下を対象に、所属を越えて刺激しあい、地域との接点を持つ機会を提供することにより、若者のチャレンジをサポートし、地元に貢献できる若い人材を育むことを目的とした若者応援プロジェクトです。若者たちが考えたプロジェクトのコンセプトは「未来を描くキャンパス」。建物やスペースだけでなくそこに集まる若者たちの活動・空間・雰囲気と、若者たちがさまざまな困難をパス（can pass）していきける学びや出会いがある場という意味が込められています。

昨年 9 月にイベントを開催し、今回が本開催となります。

【プログラム】

3月24日（土）

13:00～	はじめの会
13:30～	自分学
15:00～	休憩
15:15～	1日サークル入部体験
16:00～	自由時間
17:00～	おわりの会

3月25日（日）

13:00～	はじめの会
13:30～	失敗体験からの学び（1回目）
15:00～	休憩
15:15～	とちぎ学生の集い
17:00～	おわりの会

3月26日（月）

13:00～	はじめの会
13:30～	とちぎおもしろ仕事学 ・とちぎのおもしろ仕掛け人に学ぶ ・地域のミライ作戦会議
16:00～	自由時間
17:00～	おわりの会

3月27日（火）

13:00～	はじめの会
13:30～	失敗体験からの学び（2回目）
15:00～	休憩
15:15～	コカ・コーラ ボトラーズジャパントーク 桑水流 裕策選手出演
16:10～	名刺交換・記念撮影など
17:00～	おわりの会

【コカ・コーラ ボトラーズジャパントーク 講師プロフィール】



桑水流 裕策 （くわずる ゆうさく）
（1985年10月23日 鹿児島市生まれ）

- 所属：コカ・コーラレッドスパークス
- ポジション：ロック/フランカー（15人制）
- 身長：188cm 体重：102kg
- 経歴：鹿児島工業高校⇒福岡大学
⇒2008年コカ・コーラウエスト株式会社
（現コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社）入社
2005年、7人制ラグビー日本代表初選出（スリランカセブンズ）
2016年、リオデジャネイロオリンピックでは、初めて採用された7人制ラグビーの日本代表主将として出場し、ニュージーランドを破るなど4位に入る健闘を見せた。「ミスターセブンズ」と呼ばれる。

【特定非営利活動法人とちぎユースサポーターズネットワーク】

特定非営利活動法人とちぎユースサポーターズネットワークは、若者の力を活かし、地域の課題解決／活性化を加速させることを Mission として、2008年7月1日に設立された法人です。

実践型インターンシップ「GENBA CHALLENGE」や若者が社会をよくするスタートアッププログラム「iDEA→NEXT」など、県内自治体や大学、企業、NPO 等と連携しながら、若者たちのチャレンジの場づくりに取り組んでいます。成果として、2012-2016年度の5カ年で、生まれた新しい事業38件、共にチャレンジした若者10,738人(のべ)、関わった協力者1,854人(のべ)と若者たちの新しい動きやそれを支える協力者が生まれています。詳細は、WEBサイトをご参照ください。<https://www.tochigi-ysn.net/>